

将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき
実質的な負債の
標準財政規模に対する比率

地方債残高や債務負担行為に基づく一定の支出に加え、
従来の決算になかった退職給与引当金等を負債とみなし算出



■算定方法

将来負担比率	=	将来負担額 (地方債残高・退職給与引当金等)	—	・ 充当可能基金額 ・ 充当特定財源見込額 ・ 基準財政需要額算入見込額
		標準財政規模 (臨時財政対策債を含む)	—	基準財政需要額算入額

■熊本市の将来負担比率

$$\frac{637,877 \text{ 百万円} - 466,313 \text{ 百万円}}{207,949 \text{ 百万円} - 23,342 \text{ 百万円}} = 92.9\%$$

* 参考: 令和4年度決算

$$\frac{643,136 \text{ 百万円} - 458,502 \text{ 百万円}}{203,631 \text{ 百万円} - 22,975 \text{ 百万円}} = 102.2\%$$

早期健全化ライン (400%) を下回っている